

光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2022年11月号>

185号 2022.11.01 配信

秋も一段と深まり、寒さが身にしみる季節となりました。11月は、秋の実りのイベント開催が多い月です。コロナ禍や社会経済状況に負けず、秋の味覚を楽しんだり、節約しながら何か一ついつもと違うことを工夫したりしてみたいかがでしょうか。冬支度も忙しくなる時期ですが、健康に気をつけつつ、お互いに励みましょう。（小学校教職員ネットワーク委員）

■同窓会だより

◇第30回 秋桜祭 今年度のテーマ「Colorful」 11月12日(土)・13日(日)10:00~16:00
今年度の秋桜祭は事前予約制度なしの自由来場で開催されます。

①学内展示

※場所 3号館 1階 1S02・4階 4S01 (2教室で展示)

「同窓会の活動とあゆみ」

会長紹介、同窓会活動とあゆみ、支部一覧をパネルと写真で展示

「支部からの観光パンフレット」

全国の支部から届いた観光・物産のパンフレットを展示

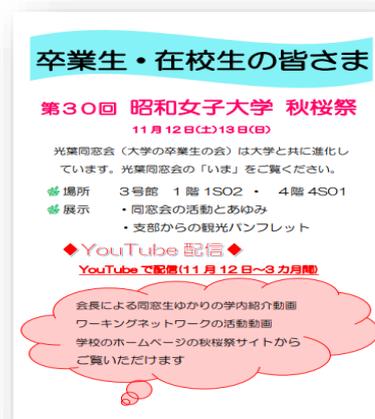
②YouTube 配信

※大学ホームページの秋桜祭サイトで、11月12日~3か月間配信

「会長による同窓生ゆかりの学内紹介動画」

英語コミュニケーション学科の学生にも協力をいただきました。

「ワーキングネットワーク活動動画」 ネットワーク委員が元気に呼びかけします。



☆秋桜祭実行委員会企画部による第1回から第30回までの歴史を振り返るストーリー、プロジェクションマッピングが上映されます。光葉同窓会も写真提供しています。

日時：11月13日(日) 12:00~16:00

場所：昭和女子大学 8号館 コスモスホール

☆秋桜祭 Instagram でも光葉同窓会を宣伝します。



◇ワーキングネットワーク委員会 10月8日 13:30~15:30

光葉同窓会研修室で対面とZoomで行いました。「Zoom形式のミーティングを充実させる」「メルマガ読者や、支部との交流を図りたい」「久しぶりに会っておしゃべりしたい」などの意見や会話が交わされました。年内にZoomミーティング、年度末までに対面集合を行う予定です。

■学園だより

◇現代教養学科20周年記念行事のお知らせ

開設20周年を記念して11月19日(土)にイベントを開催します。現代教養学科卒業の皆様、ぜひイベント情報のサイトをご覧ください。 <https://swuwp.swu.ac.jp/university/gendai/cla.html>

「加藤澄江先生を偲ぶ会」のご案内（光葉同窓会報 99 号に掲載）

加藤澄江第 4 代光葉同窓会会長が、本年 2 月 16 日、ご逝去されました。享年 97 歳でした。本学の生活科学科長を長年お務めになり、学寮部長、評議員、理事を歴任され、光葉同窓会の発足した 1973 年から同窓会の発展に貢献されました。学校法人昭和女子大学と共催で、先生とのご縁のあった方にお集まりいただき、故人が歩まれた足跡をお偲びいたしたく、ご案内申し上げます。



加藤澄江第 4 代会長

日時：2022 年 11 月 9 日(水) 14:30～16:30

場所：昭和女子大学 学園本部 3 階 服装：平服

同窓会員の皆様には、供花代として当日受付で 1,000 円をお納めいただきます。

■広げよう光の葉

西谷 友里さん

2008 年 英語コミュニケーション学科

【ENJOYBOUSAI】で世の光となる日を目指して

大学時代の友人は、今では子育ての悩みやちょっとした夢を語り合える一生の友達となり、在学中の楽しかった思い出や寮生活、ボストン留学などのキラキラした経験は、少し気持ちが沈んでしまった時に思い返すことで、自分を後押ししてくれるパワーになっています。

私は、英語コミュニケーション学科を卒業後、地元のテレビ局である山形放送に就職しその後都内の IT 関連企業に転職。現在は 36 才 3 児の母となり、実家の山形にある創業 274 年有限会社西谷の 9 代目として働いています。

防災士・防災介助士・消防設備士・一般毒物劇物取扱責任者という資格を持ち 2 年前から【ENJOYBOUSAI】をテーマに、非常用のごはんと衛生用品、甘いもの、野菜など、災害時だけではなく「いつも使いたくなる」を意識して制作した防災ボックスは、4 シリーズ 6 種類になりました。この取り組みは、内閣官房国土強靱化の取り組み事例集にも、2 年連続で選出されています。

現在は跡継ぎ娘としての人生を歩んでおりますが、在学中はアナウンサーを目指して全国 30 局ほどのテレビ局を受験しました。でも、なかなか合格せず、失意の中にいるときに舞い込んできたのが、一生の思い出となった『昭和女子大学入学案内』の表紙モデルになった貴重な経験です。オープンキャンパスや就職説明会で司会やパネリストなど、アナウンサーという夢に破れた私が入前で「伝える」「表現する」という初めての場をいただきました。そこで感じたのは、一つのことを全員で作り上げていく楽しさや新しいものを生み出す面白さ、分かりやすく伝えるにはどうしたらよいのかと迷う新鮮さでした。

アナウンサーになる夢は叶いませんでしたが、新卒入社したテレビ局ではテレビ制作部に配属されて、「伝える」「表現する」を一から作り上げる TV ディレクターの道を歩むことになったのです。

それは、現在の仕事である ENJOYBOUSAI 事業にも、確実につながっています。

私は今、防災を「楽しい、おいしい、オシャレ」に伝える仕事に、力を入れています。

近年は地震や台風などの自然災害の増加、新型コロナウイルスの感染拡大など、それまで予想もしなかったことが突然私達にふりかかっています。そんな時だからこそ、防災を楽しみながら継続していくという「ENJOYBOUSAI」の取り組みを東北・山形から全国に発信していきたいと考えています。

そして、「世の光となろう」という建学の精神は、きっとこれからも私を後押ししてくれる大切な 7 文字となるでしょう。【End】

メールマガジンを読んだのご感想、ご意見をお寄せください